

次期の見通し

■企業のIT投資は底堅く推移すると予想

今後、国内景気は引き続き緩やかながらも回復していくことが期待されます。しかし米国の政策の行方や為替相場、中国景気の動向、地政学的リスクなど懸念材料もあり、一部に慎重な動きも予想されます。

このような経済環境のもとで、国内企業は引き続き競争力強化のための攻めのIT投資が必要とされており、またセキュリティ対策の高度化、働き方改革への対応、新たなIT技術やIT利用領域の拡大への関心もあり、企業のIT投資は今後も底堅く推移するものと予想されます。

■地域密着でソリューション提案

以上のような経済状況や企業のIT投資動向に対する見通しを前提として、引き続き当社の強みである幅広い取扱い商材やサービスを活かし、付加価値の高いサービスを加えるなど一段上の提案を目指すと同時に、新規顧客の獲得もさらに進めていきます。そのために地域主導の運営をより推進し、現場力を活かし地域密着でお客様の課題を解決するソリューション提案を強化していきます。そして魅力あるオフィスサプライ商品の品揃え、企業活動の負荷軽減を支援する保守サービスメニューの開発など、ストックビジネスを強化し、お客様と安定的かつ長期的な取引関係を構築し収益基盤の充実を図ります。

2017年の市場予測

- 国内外ともに、先行き不透明感はあるが緩やかな景気回復を継続
- 攻めのIT投資、生産性向上、コスト削減ニーズ
- 新たなIT技術、IT利用領域への関心の高まり
- 働き方改革の拡がり
- 企業のIT活用ニーズ、省エネニーズは底堅い

2017年の方針と施策

- 『オールフロントでお客様の困ったを解決し、
信頼に応える』
- 地域営業部主体の運営で現場力・お客様接点の強化
 - お客様との取引品目を拡大、クロスセル
 - ITを活用し働き方改革を支援
 - セキュリティの高度化に対応
 - 新技術対応への取り組み強化
 - 光回線、ネットワークソリューション提案の強化

■セグメント別の施策

システムインテグレーション事業では、企業のIT投資動向やIT活用ニーズを見極めながら、複写機・コンピューター・タブレット等のモバイル端末・電話機・光回線・Wi-Fi環境・セキュリティ関連機器等を組み合わせた複合システム提案や総合提案をさらに推進し、ソリューション提案の強化を図ります。

サービス&サポート事業では、オフィスサプライ通信販売事業「たのめーる」において、お客様のニーズに合わせた品揃え、商材の拡充、プライベートブランド商品「TANOSEE」の充実等を図るとともに、お客様との接点をさらに強化し販売につなげます。また、サポート事業「たよれーる」において、運用代行型のサービスなど総合的なサービスの開発を行い、ハードウェアに依存しない新しいサービスを強化します。

■次期の業績見通し

次期の連結業績予想は以下の通りです。売上高6,710億円（前年同期比4.3%増）、営業利益410億円（前年同期比3.3%増）、経常利益416億円（前年同期比2.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益272億80百万円（前年同期比2.3%増）。

セグメント別の売上高では、システムインテグレーション事業3,917億30百万円（前年同期比4.1%増）、サービス&サポート事業2,789億10百万円（前年同期比4.6%増）、その他の事業3億60百万円（前年同期比10.2%減）。

売上高・利益計画

（単位：百万円）

| | 2016年 12月期 | 2017年12月期 (計画) | |
|------|---------------|-------------------|-------|
| | 金額 | 金額 | 増減率 |
| 売上高 | 643,417 | 671,000 | +4.3% |
| 営業利益 | 39,684 | 41,000 | +3.3% |
| 経常利益 | 40,780 | 41,600 | +2.0% |
| 純利益* | 26,675 | 27,280 | +2.3% |

※親会社株主に帰属する当期純利益

セグメント別売上高計画

（単位：百万円）

| | 2016年 12月期 | 2017年12月期 (計画) | |
|-----------------|---------------|-------------------|--------|
| | 金額 | 金額 | 増減率 |
| システムインテグレーション事業 | 376,391 | 391,730 | +4.1% |
| サービス&サポート事業 | 266,625 | 278,910 | +4.6% |
| その他の事業 | 400 | 360 | -10.2% |